



世界最大のサラダ調味料市場、米国での展開を加速

米国 テネシー州に 調味料の生産拠点を新設します

2023年5月から着工、2025年5月に稼働を予定

キューピー株式会社

キューピー株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役 社長執行役員：高宮 満、以下キューピー）は、グループ会社である Q&B FOODS, INC.（アメリカ合衆国 カリフォルニア州）の米国における 2 カ所目の生産拠点としてテネシー州 クラークスビルに工場を新設します。2023年5月から着工し、製造開始は2025年5月を予定しています。新しい生産拠点では、家庭用および業務用のマヨネーズ・ドレッシングの製造を担い、米国における生産能力の増強により、世界最大のサラダ調味料市場である米国での事業展開を加速します。

キューピーは米国において2014年頃からキューピーブランドのマヨネーズ・ドレッシングの拡売に注力してきました。近年は、新たな価値を求めるレストランシェフや消費者の間でキューピー商品の味や品質への支持が高まっています。このような増大する需要と成長性を視野に入れ、南東部のテネシー州に新しい生産拠点の建設を決定しました。新たな生産拠点により、西部に位置する既存のカリフォルニア工場からは距離がある中西部や東部へも商品の速やかな供給が可能になります。2拠点体制を構築することで、拡大する米国の内食・中食・外食市場への展開を進めていきます。



テネシー州の新工場では、従来比で生産性2倍、環境負荷軽減1/2をめざし、サステナブルな生産を実践します。『3つのE』※をコンセプトに定め、「あらゆる食シーンでお客さまの笑顔のサポーターとなること」を掲げ、サステナブルとコストを両立させるモノづくりを実現します。

※『3つのE』

①Employee-Friendly

従業員が働きやすい環境の実現

②Environmental-Friendly

リサイクルの推進や CO2 排出削減などを実現

③Economic-Friendly

容器の内製化などを実施し、生産性向上を図る



Q&B FOODS 製 マヨネーズ

工場の概要は以下の通りです。

| | |
|--------|--|
| 所在地 | アメリカ合衆国 テネシー州 モンゴメリー郡 クラークスビル |
| 建築様式 | S造（鉄骨造） |
| 工場面積 | 建築面積 約 15,000 m ² 延床面積 約 15,000 m ² 敷地面積 約 80,000 m ² |
| 着工 | 2023年5月予定 |
| 稼働 | 2025年5月予定 |
| 主な製造品目 | 家庭用および業務用のマヨネーズ・ドレッシング |
| 最大生産能力 | 年間約 60,000 t |
| 従業員数 | 60名予定（2025年5月稼働時） |
| 初期投資金額 | 62百万米ドル（約 92億円 ※2022年10月末時点の為替レートで計算） |

【参考：Q&B FOODS, INC. 概要】

| | |
|-------|--|
| 社名 | Q&B FOODS, INC. |
| 代表者 | CEO：濱崎 伸也 社長：Jerry Shepherd（ジェリー シェパード） |
| 事業内容 | 家庭用および業務用のマヨネーズ・ドレッシングの製造・販売、マヨネーズ・ドレッシング・ソースの受託生産 |
| 本社所在地 | アメリカ合衆国 カリフォルニア州 アーウィンデール |
| 資本金 | 4.8百万米ドル |
| 出資比率 | KIFUKI U. S. A. CO., INC. 100% （KIFUKI はキューピー株式会社の 100%子会社） |
| 設立 | 1982年3月 |
| 決算期 | 9月30日 |